

科 目 名	必修／選択	単位数	学 年	学科
論理国語	必修	2	3	普通科

科目の概要	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動をとおして、国語で的確に理解し、効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。 (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉をとおして他者や社会に関わろうとする態度を養う。			
教材名	教科書	「精選 論理国語」(数研出版)		
	副教材	「現代文キーワード読解」(Z 会) 「入試頻出漢字+現代文重要語彙 TOP 2500 三訂版」(いっずな書店) 「共通テスト対策新しい第3の現代文集中完答 11」(尚文出版) 「大学入学 共通テスト演習 現代文 五訂版」(いっずな書店)		
担当者		佐々木誠司 熊谷正志		
学習到達目標		(1) 国語の知識や技能を身につけるようにする。 (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばす。 (3) 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させ、言葉をとおして他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
学習方法		・「語彙力」を増やす。 ・文章の構成や展開、表現の仕方について理解する。		
評価基準と評価規準 ルーブリック		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
	評価方法	考查 漢字テスト 課題 など	考查 授業中の活動 課題 など	授業中の活動 考查に向けての取り組み 漢字テスト 提出物 など
	A	実社会に必要な国語の知識や技能について十分に理解できる。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、他者との関わりに中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを深めることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉をとおして他者や社会に関わろうとしている。
	B	上記 A の項目について、概ねできている。	上記 A の項目について、概ねできている。	上記 A の項目について、概ねできている。
	C	上記 A の項目について、努力を要する。	上記 A の項目について、努力を要する。	上記 A の項目について、努力を要する。

年 間 学 習 計 画

月	章 ・ 単元	学習内容・目標等	時数	備考(テスト・講習等)
4	丸山真男 『『である』ことと『する』こと』	現代社会のさまざまなありようを「である」と「する」という平易で汎用性のある二つの視点から分析・批判する文章を読み、現代社会を理解する力をつける。	7	授業の始めに 評論・実用文読解 の速読演習を行う。
5	藤田省三『『安楽』への全体主義』	「不快」と「安楽」の二項対立的な図式を理解し、本文の構造をつかむ力を養い、現代社会について考えさせる。	7	
6	前期中間考査		1	
7	森田真生「生命の知性」	仮説から結論を導き出す過程や三段論法を用いた思考法など、抽象的に物事を捉えて思考を展開するための手法を学ばせる。	5	
8	鷲田清一「顔の所有」	段落毎のキーセンテンスを見いだしつつ論の展開を押さえ、筆者の主張を捉える。難解な文章なのでキーワードをマークしながら、その関係に留意しながら論の展開を丁寧にたどらせる。	7	
9	前期期末考査		1	考査では初見の問題を中心とする。
10		「大学入学 共通テスト演習 現代文 五訂版」(いっずな書店)	3 2	模試の過去問は 実施状況により、 時期等を配慮する。
11		昨年のベネ駿共テ模試 論理と文学		
12		令和2年以前のセンター試験過去問		
		ベネッセ駿台、全統模試過去問		
			計 6 0	